

令和7年2月14日

インドネシア官民合同委員会結果概要

日時：2025年2月5日(水) 尼時間 09:00-12:00

場所：国家職業資格認証機構(Badan Nasional Sertifikasi Profesi/BNSP)

参加者数：28名

政府(17)： 尼 国家職業資格認証機構(BNSP) (12名)

 金属・機械加工分野試験協会(LSP-LMI)(1名)

 日 厚生労働省 (3名)

 在インドネシア大使館 (1名)

業界団体(4)： インドネシア金型工業会(IMDIA)(4名)

民間企業(4)： PT.Panasonic(3名)、 PT Denso(1)

有識者(1)： SESPP 事務局技術顧問(1名)

事務局(2)： JTB 霞が関事業部(2名) (別途、日尼通訳1人)

場 所： BNSP2 階会議室

1. 今年度の成果(SESPP 事務局、IMDIA)

技能検定

・機械製図(CAD 作業)2 級技能評価者講習(SAT)/技能評価トライアル(SET)

1月20日～24日、松下ゴーベル財団・ハイテク金型センター(HMTC)にて実施。

結果：SAT 受講者4名修了者4名、SET 評価者4名、受検者8名、内合格者4名。

2. 次年度実施に向けた提案(厚生労働省)

①SESPP 事業の最終目標：

技能評価システム(技能競技大会・技能検定)を構築することにより、技能労働者の育成及び能力向上を図る。

②技能検定・技能競技大会の目標・活動

・技能検定…目標：技能検定の定着及び実施職種のレベルアップ

活動：2024年までの事業のフォローアップ (評価者講習、技能評価トライアル)

新たな職種への取組

③2025年度の事業実施案：技能検定

・2024年度までの事業のフォローアップ (平面研削盤2級 SAT/SET)

・新たな職種への取組

3. 官民合同委員会での主な意見

(1)次年度以降の支援職種について

・5軸マシニングセンタ、メカトロニクス、CAD-CAM等、11の職種を新たに実施したい。

研修実施のための設備・機器類は全てハイテク金型訓練センターにそろっている。

さらにロボット溶接も加え 12 の職種が日本の技能検定に有れば、実施をお願いしたい。(IMDIA:Rudinato 氏)

- ・金型分野のインドネシア内国産化に向けて、金型設計、部品製作、組立完成、テスト試作、CAE 解析(コンピューター解析)の新たな 5 職種を実施してほしいとの要望をうけており、研修実施の検討をお願いしたい。(IMDIA:高橋名誉会長)

(2)インドネシアと日本における技能検定の相互認証について

- ・日本の仕組みに基づいて開発、実施した職種については、日本の実施機関の資格として認証として認めてもらいたい。(BNSP : Mr. Syamsi Hari, Execution Chairman)
- ・相互認証については可否をここでは述べることは差し控えたい。相互認証については解決すべきハードルがいくつかあるが、ご要望の内容について、今後どのようなことが可能か検討していくこととしたい。
(厚生労働省:海外協力室高村亜紀子室長)

(3)機械製図(CAD 作業)について(IMDIA:Rudinato 氏)

- ・SESPP の支援のもと、2019 年度より実施している。
- ・2019 年度から 2024 年度の 6 カ年で、3 級は 90 名が受検し 43 名合格(合格率 48%)、2 級は 24 名が受検し、13 名合格(合格率 54%)の結果となっている。

以上